■ 取扱説明書 ■

ご使用の前に、本マニュアルを必ずお読みください。

○ 弊社の製品をご購入いただき有難うございます。ご使用の前に本マニュアルをよくお読みいただき、本製品をよく理解した上でご使用ください。

○ 本マニュアルにある情報は検証されたものですが、ナビゲーションのマップデータの正確さや、技術的解釈や編集の解釈、または、イラストあるいは本マニュアルの印刷や翻訳に関して、責任を負うものでは無く、また本マニュアルの使用による結果的または付随的損害賠償に対しても一切の責任を負うものではありません。

○ 本機は、OS および第三者製のソフトウェアで構成される精密機器です。メーカーは、そのハードウェア製造処理と開発および・またはソフトウェアのアプリケーションに関する義務の履行を十分に考慮して、本機の適切な動作確保を行っております。
本機の故障もしくは欠点がある場合、先天的な品質問題に対しては製造者が保証を行いますが、本機の使用に関連して、またはその使用によって生じた一切の損失や財産の損害あるいは事象に関しては、保証の対象に含まれておりません。

○ ナビゲーションソフトウェアとマッピングデータは、第三者により提供されており、その著作権は、法律により保護されています。ユーザーは、本機に関してのみ使用を許され、一切の著作権やソフトウェアのアプリケーションに関しての使用は許されません。

○ 明示的および・または黙示的な保証や保険が、本機に使用されたナビゲーションのマッピングデータの妥当性、完全性、正確性、精度に適用されることは一切無く、また本機に使用されたナビゲーションのマッピングデータやソフトウェアの欠点に関連して、または、その使用によって生じた損失や破損および・または事象に対して一切の責任を負いません。

○ 本マニュアルの著作権は、当社の所有物であり、法律によって保護されています。単語、または、数字、記号、音声のインデックスなどを含んだコンテンツに関する一切のコピーもしくは、部分的または全部の翻訳は、個々の顧客の参考の目的のみに許されます。公表もしくはその他の法的または商業的な目的では許されません。当社は、本マニュアルの最終的解釈に関する権利を留保します。

目次

□ **GPSアプリケーションに関するヒント** ―― **P5**

□ **機能概要** ―― **P6～9**

特性…… 7
警告…… 8
画面に表示されるイラスト…… 9

□ **バッテリー** ―― **P10～12**

バッテリーステイタスアイコン…… 11
充電…… 11
充電器アプリ…… 12

□ **本機の電源のオン／オフ** ―― **P14～15**

本機の電源オン…… 15
スリーピングモードと電源オフ…… 15

□ **ISDB-T** ―― **P16～28**

紹介…… 17
・主な特性 …… 17
・アプリの起動 …… 17
はじめてアプリを起動するとき…… 18
テレビ再生…… 19、20
再生ウインドウ…… 19、20
レコーダーディレクトリー…… 21
録画とローカルファイル作成…… 21～23
・録画 …… 21
・録画されたファイルを再生する …… 21、22
・EPG…… 22、23
イベント情報…… 24
設定…… 25～28
・チャンネルスキャン …… 25、26
・一般設定 …… 27、28

□ **機能と操作** ―― **P30～43**

フラッシュ再生…… 31、32
音楽再生…… 33、34
ビデオ再生…… 35、36
写真再生…… 37、38
Eブックを読む…… 39、40
ゲーム…… 41
電卓…… 42
GPS テスト …… 43

□ **システム設定** ―― **P44～52**

言語設定…… 45
バックライト設定…… 46
電源設定…… 46
音声設定…… 47
時間設定…… 48
システム設定…… 48
座標調整…… 49
ロゴ・アップデート…… 49、50
GPS パス …… 50、51
USB 設定 …… 52

□ **サービス** ―― **P54～56**

TF カードへのファイル保存と割当をするには …… 55
仕様書…… 56
トラブルシューティング…… 56

GPSアプリケーションに関するヒント

以下はＧＰＳナビの応用と操作のヒントです。本ＧＰＳナビをご使用になる前にお読みいただき、より良くお役立てください。

○ ＧＰＳナビの起動中は、位置決定のために衛星信号を受信しています。衛星信号は、室内や高層ビル、または、歩道橋の下では受信できない場合があります。

○ ＧＰＳナビが衛星信号の受信において、違う場所の違う衛星からの信号を受けることがあります。これを「サテライトパス」と呼びます。「サテライトパス」は、300km を一つの範囲としています。一つのサテライトパスの範囲にある地点Ａにいる時に電源を切って、地点Ａから 300 キロ以上離れた別のサテライトパスの範囲内に移動した場合、GPS ナビは、再度衛星信号を探し当てることになります。この新しい 「サテライトパス」を探し当てる動作は、かなりの時間を要しますので、時間を短縮するために、“GPS テスト”メニューにある [GPS リセット] ボタンを押して、以前の「サテライトパス」を消してください。

○ 高速走行の間は、位置を決める衛星信号を受信することが難しくなり時間を要します。しばらく車を止めてより良く安定した信号を受信することをおすすめします。

○ 本機の充電中は、同梱のメーカー支給の携帯充電器か車両充電器のみをお使いください。他の充電器の使用は、本機の故障の原因となり、その際の故障は、当方の保証の対象となりません。

機能概要

特性…… 7
警告…… 8
画面に表示されるイラスト…… 9

特性

○ 超大型ＨＤによるトゥルーカラー再生と、タッチスクリーン操作でのハードウェアーへの入力

○ プロフェッショナルポータブルナビゲーション、インターフェイス設計による車両電子機器、変更可能なテーマインターフェイスでの便利な操作

○ 最も人気の Windows OS、世界クラスの CPU を搭載

○ 地図データ容量が拡張可能なＳＤカード、また、MP4 ビデオ、MP3 ミュージック・写真・個人ファイルが再生可能

○ 拡大縮尺及び標準縮尺表示による主要市街地図、詳細地図データ、リアルな音声案内、自動でスムースな切り替え

○ 高感度 GPS 受信モジュールおよびアンテナ内蔵、素早い GPS シグナル受信とより正確な位置決定

○ 早くて正確な位置決定に適した GPS データ収集　（例）エリア測定

○ 寒暖変化のもとでも、平均一秒で GPS シグナルを取り直すことができる素早い反応、誤差 10 メートル以内での正確な位置決め、1 マイクロ秒以内の正確なタイミング

○ マルチメディアエンターテイメント：
フラッシュディスプレイ、ＭＰ３ミュージック、ＭＰ４ビデオ・写真閲覧

○ 内蔵電算機によるビジネスアシスタント

○ 車両使用に設計されたカーステレオ付ＦＭトランスミッターは、本機の音量に左右されません。

○ 個人仕様の機能設定：
言語選択、バックライト明度調整、電源設定、座標調整

○ ユーザーに親切な GPS“一時静止”機能。
この機能により、フラッシュ以外の音楽や e- ブックのような他のアプリの本機での利用が可能になります。本機についている GPS アプリをバックグラウンドに切り替えるリターンボタンを押して、GPS アプリケーションを終了することなくを継続使用できます。

⚠ 警告

○ 運転手の視界やエアーバックの邪魔にならないように本機を正しく設置してください。間違った備え付けや設置ミスにより生じる製品、同乗者、またはその他所持品のいかなる損傷や故障も保障の対象にならず、製造者は責任を負いません。

○ 安全を確保するため、運転中やバイクに乗る際にはイヤホンの装着や本機の操作はしないでください。

○ 飛行中に使用する場合は、フライト乗務員に使用についてご確認ください。

○ 強力な磁場に本機を近づけないでください。本機の損傷や故障の原因となります。

○ 本機に損傷（表面に傷をつける、バッテリー接触が緩む、データ損失またはその他ハードウェア - 部分の損傷など）を与えることを防ぐため、本機を落としたり、ショックを与えたり、固いもので傷つけたりしないように保護してください。

○ イヤホンで継続して大音量で聞かないでください。音量は適切な大きさに設定し、聴力に損傷を与えないよう長時間の使用は避けてください。

○ 塗装部や表面を磨く際や、製品の掃除には薬品やクリーナーを使わないでください。本機の損傷の原因となります。

○ 本機を車両記憶装置として利用される際は、コピーやファイル転送の正しい操作管理手順に従って行ってください。ファイル操作のミスや損傷や損失に関しては、保証されません。

○ 本機にある個人ファイルに関しては、個人用コンピューターやラップトップ（型）コンピューターに適時、バックアップコピーを作成してください。

○ 電源ケーブルに大きな力を加えたり締め付けたり、本機に高電圧電源を使うことは禁止されています。火災や損傷、またオーバーヒートの原因となります。

○ 濡れた手でコンセントや電源プラグの差し込み部分を触らないでください。感電や怪我の原因となります。

○（６０？） を超えたり（１０？）を下回る環境で、本機を使用しないでください。

○ 本マニュアルの内容は、特徴・機能に関して改善するために、事前の通知なく時宜に応じて定義や解釈になり、改編されます。

画面に表示されるイラスト

システム表示画面（メイン）

システム表示画面（メイン）のアイコンをクリックして、各機能ページに入ります。アイコンアニメのループ再生をクリックし、機能を登録します。

機能アイコン以外のアイコンをクリックすると、それらのアイコンアニメを楽しめます。端にある矢印をクリックすると、ページを送ることができ、合わせてアイコンも表示されます。

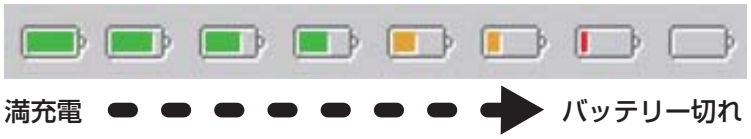
システム表示画面（サブ）

システム表示画面（サブ）のアイコンをクリックして、操作可能な機能に進みます。また、右下の矢印を押すと、次のページがアニメーションで表示されます。

バッテリー

バッテリーステータスアイコン…… 11
充電…… 11
充電器アプリ…… 12

バッテリーステータスアイコン



バッテリーレベルが低くなっている時には、本機が正常に機能するために直ちに充電してください。

充電

充電に関しての警告

1. 新しいバッテリーは、本機購入前に充電されていない場合があります。
2. バッテリーの性能をより高くするために、16 時間を超えて充電することがないように最初の 3 回は 8 時間充電してください。
3. 通常のＤＣ充電器で充電する場合は、2.0 ～ 2.5 時間でフル充電になるように確認してください。

・新しいバッテリーは、充電と放電を 1 サイクルさせた後、最も高い性能を発揮します。

・本機を長期間使用していない場合には、保管中は2、3ケ月に一度フル充電をすることをおすすめします。

・本機を長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外しておいてください。

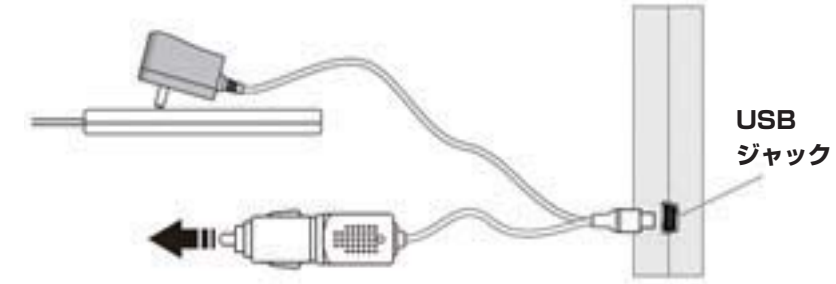
充電器（チャージャー）アプリ

DC 充電器（チャージャー）

ＤＣチャージャーを取り外し、壁面コンセント AC 220V（100V ～ 240V）につないだ後に、デバイスのＤＣジャックにつないでください。（下図参照）

カーライター充電機（チャージャー）

カーチャージャーをカーシガーライタージャックに差し込んだ後に、USB ジャックに差し込んでください。（下図参照）



カーシガーライタージャックへ差し込む

カーチャージャーを使用する時は、イグニションの間にパルス電流の過負荷で本機が損傷するようなことがないように、先に車両エンジンをかけた後、本機につないでください。また、車両エンジンを止めてから抜き、次回のイグニション後に再びつないでください。

電源のオン / オフ

本機の電源オン…… 15
スリープモードと電源オフ…… 15

本機の電源オン

電源オフの状態で、電源ボタンを押し本機の電源を入れると、OSD が画面表示されます。

スリープモードと電源オフ

電源がオンの時に、本機の電源ボタンを 3 – 5 秒間押し続けると、スリープモードまたは電源オフの確認画面が次のように表示されます。

この表示画面では、スリープ のボタンをクリックすると スリープモードに変わり、シャットダウン のボタンをクリックすると電源オフになり、終了 のボタンをクリックすると表示画面から通常操作に戻ります。

スリープモードからの起動

スリープモードの時に、本機の電源ボタンを短く押すと、本システムが起動します。

> **スリープモードの時に起動すると、すべての操作手順は通常の状態に戻ります。**

ISDB-T

紹介…… 17
主な特性…… 17
アプリの起動…… 17
はじめてアプリを起動するとき…… 18
テレビ再生……19、20
再生ウィンドウ…… 19、20
レコーダーディレクトリー…… 21
録画とローカルファイル作成… 21 ～ 23
録画…… 21
録画されたファイルを再生する 21、22
EPG …… 22、23
イベント情報…… 24
設定…… 25 ～ 28
チャンネルスキャン…… 25、26
一般設定…… 27、28

紹介

主な特性

I デジタルＴＶ　ライブイン再生

ISDB-T

I チャンネル　スキャン、インストールおよびザッピング

I チャンネル　リストマネージメント

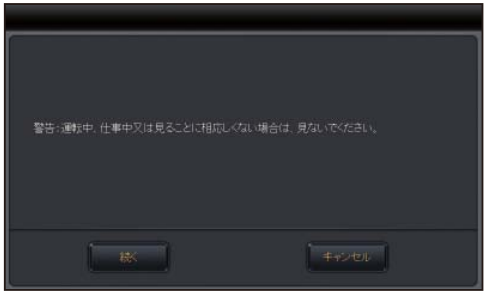
I 電子番組ガイド

I 画面スナップショット

I オーディオ設定

アプリの起動

アプリを起動すると、以下のように
「警告：運転中や操作中の不適切な視聴は禁止されています。」
と警告が表示されます。



“続ける”ボタンを押して、ＴＶアプリケーションに入ります。
“キャンセル”ボタンを押してアプリケーションを終了します。

はじめてアプリを起動するとき

チャンネルがなにもリストされていない場合、自動チャンネルスキャンのメニューが最初に表示されます。

1）“スキャン”ボタンをタッチして、チャンネルスキャンを開始します。“スキャン”ボタンは“停止”ボタンに変わります。

2）“停止”をタッチすると、現行のチャンネルスキャンを停止します。“停止”ボタンは、“スキャン”ボタンに変わります。
プログレス（処理ステータス）バーがステータス完了を示すと、全てのインストール済チャンネルが保存されます。

3）リターンボタン をタッチすると、ダイアログを閉じて、チャンネルスキャンを終了します。チャンネルスキャン中にリターンボタンをタッチした場合、インストール済チャンネルは何も保存されていません。

4）詳細については、チャンネルスキャンセクションをご覧ください。

チャンネルを保存した後は、再生ウィンドウを直接表示し、前回（停止する前に）再生していたチャンネルを再生します。

テレビ再生

再生ウィンドウ

ISDBT 地上デジタル TV 放送のメインメニューです。ISDBT が始動すると、前回停止時に再生していたチャンネル再生を開始します。

1. チャンネル名

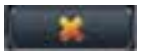
① 現在のチャンネル名を表示します。
② どのチャンネル名も表示できない場合は、〝表示不可〟 と表示されます。

2. 時間

現在の時間

3. 受信状況

現在の受信状況を表示します。

4. 

このボタンをタッチするとアプリが終了します。

5.

このボタンをタッチすると、現在のビデオフレームの画像を保存します。
保存した画像はスナップショットディレクトリーにあります。
レコーダーディレクトリーをご参照ください。

6.

このボタンをタッチすると、録画を開始します。録画されたファイルは、ＰＶＲディレクトリーにあります。レコーダーディレクトリーの章をご参照ください。

7.

① これらの２つのボタンは、ライブインチャンネルの再生中は機能しません。
② ローカルファイル再生時に“Pause（一時停止）”をタッチすると、現在再生中のものが一時停止します。“Play (再生)”をタッチすると、再生を再開します。
③“Pause（一時停止）”ボタンを押してライブインＴＶチャンネルを停止した場合は、“Play (再生)”をタッチして、ライブイン再生を再開します。

8.

このボタンは、
① ＴＶライブイン再生
② ローカルファイル再生
③ 録画
を停止します。

9.

前のチャンネルに戻ります。

10.

次のチャンネルに進みます。

11.

このボタンをタッチすると、現在再生中のものを停止して、ファイルブラウザーを表示します。詳細については、録画ファイルの再生をご参照ください。

12.

このボタンをタッチすると、再生を停止して、設定メニューを表示します。

13.

このボタンは、EPG メニューを表示します。

レコーダーディレクトリー

ストレージカード（記憶媒体）にアクセス可能な場合は、アプリが自動的に検出します。

1. ストレージカード(記憶媒体)にアクセス可能な場合､標準設定の録画ディレクトリーが直接ストレージカード／レコーダーとなります。
   注意：ここで言うストレージカードは、最初のアクセス可能な記憶媒体のことです。
2. アクセス可能なストレージカード（記憶装置）がないときは、録画を停止して該当エラーメッセージが表示されます。

録画とローカルファイル作成

録画

録画ボタン をタッチすると、現在のチャンネルの録画を開始して、“.trp”ファイルとして保存します。

“停止”ボタン をタッチすると、録画を停止します。 録画中は、ボリューム調整と停止ボタンだけが機能します。録画されたファイル名は、自動的に“チャンネル名＋録画開始時間”となります。

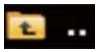
録画されたファイルを再生する

ファイルブラウザを開く

ボタンをタッチすると、録画されたファイルがリストにされたファイルブラウザーが開き、一つもしくは複数のファイルを再生できます。

1.

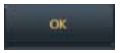
“戻る”ボタンをタッチすると、ファイルブラウザーを閉じて、メインメニューへ戻ります。

2. 

タッチすると、一つ上のフォルダに戻ります。

3.

フォルダーアイコンをタッチして、フォルダーの中に入ります。

4. 

ＯＫをタッチすると、ファイルを再生します。

EPG

EPG ボタンをタッチすると、EPG メニューが表示されます。

1 チャンネル一覧を表示

2 お気に入り一覧を表示

2. 現在の日時

例：2006 年 7 月 26 日 13:41

3.

タッチしてＥＰＧメニューを終了します。

5. チャンネルリスト（画面の右側）

① チャンネルリスト。“MY”を選ぶと、全てのチャンネルもしくはお気に入りチャンネルが表示されます。
② EPG メニューを表示した後、現在の再生チャンネルがフォーカス（ハイライト）されます。
③ スクロールバーでチャンネルリストを移動します。

6. チャンネルリスト　タブ

① をタッチするとチャンネルリストを表示します。

② をタッチするとお気に入りチャンネルリストを表示します。

③ 現在再生しているチャンネルが、選択したチャンネルリストにない場合、このチャンネルリストの中にはハイライトで表示されません。

7. イベントリスト（画面の左側）

① イベントリストは、選択されたチャンネルの全イベントを表示し、選択されたチャンネルに応じて更新されます。

② EPG メニューを表示した後、（対応チャンネルの）現在のイベントがハイライトで表示されて、イベントリストの最初に現在のイベントが表示されます。

③ スクロールバーをタッチすると、イベントリストを移動します。

9. イベントアイテム

現在のイベントアイテム

① イベント一覧（の中）のアイテムです。
② 対応チャンネルの現在のイベントがハイライトで表示されます。
③ イベントの情報アイコン をタッチすると、イベント概要を表示します。

10.

または をタッチすると、表示することができます。

イベント情報

イベントアイテムの アイコンをタッチするとイベントの概要が左側に表示されて、現在のチャンネルの全てのイベントが右側に表示されます。

6. イベントスト（画面の右側）

① 選択されたチャンネルの全イベントがここに表示されます。

② このメニューが表示された後、現在のイベントがハイライトで表示されます。

③ スクロールバーをタッチして、イベントリストを移動します。

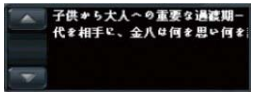
6. イベントアイテム

① これが、イベントリストのアイテムです。

現在のイベントアイテム

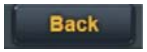
② 現在のイベントがこのようにハイライトされます。

7.



イベントの概要がここに表示されます。

9.



“戻る”ボタンをタッチすると、EPG メニューを表示します。

設定

メニュー設定には、“チャンネル”、“基本設定”、“ビデオ”および“情報”の４つがあります。

チャンネルスキャン

1.

① タッチするとメニュー設定を終了し、再生画面に戻ります。
② チャンネルスキャン中に（このボタンを）タッチした場合には、すべてのインストールされたチャンネルは保存されません。
③ このボタンを押してメニュー設定（画面）を終了した場合、すべての設は保存されません。

2.

地域を選択してください。以下が選択できます。
ALL
北海道
東北
関東
北陸、信越
東海
近畿
中国
四国
九州、沖縄

3.

または Stop（停止）

① 新しくチャンネルスキャンをするには“Scan（スキャン）”をタッチしてください。スキャンボタンは、“Stop（停止）”に変わります。
② “Stop（ストップ）”ボタンをタッチすると、現在のチャンネルスキャンが停止し、ストップボタンは“Scan（スキャン）”に変わります。また、（進行状況を示す）プログレスバーも完了状態に設定され、すべてのインスールされたチャンネルは保存されます。
③ チャンネルスキャンが完了すると、すべてのインストールされたチャンネルが保存されます。

4.

チャンネルスキャンの終了後、すべてのスキャン終了されたチャンネルが表示されます。

7.

① すべての設定の変更を保存するためには、“Apply（適用）”ボタンをタッチし、メニュー設定を閉じて下さい。
② チャンネルスキャン中は、“Apply（適用）”ボタンは隠れています。

8.

① インストールしたチャンネルを保存しないで、メニュー設定を終了する場合は“Cancel（キャンセル）”ボタンをタッチして下さい。
② チャンネルスキャン中は、“Apply（適用）”ボタンは隠れています。

TIPS! チャンネルスキャン中、メニュー設定の他のメニューパネル“一般設定”や“情報”への変更はできません。

一般設定

1.

① タッチするとメニュー設定を終了し、再生画面に戻ります。
② チャンネルスキャン中に（このボタンを）タッチした場合には、すべてのインストールされたチャンネルは保存されません。
③ このボタンを押してメニュー設定（画面）を終了した場合、すべての設定は保存されません。

2. 言語

言語を選択してください。 言語は、英語（初期設定）などがあります。

3. オーディオストリーム切替

タッチしてオーディオストリームに切り替えます。
① 2 つの設定：オーディオ 1/ オーディオ 2
② 初期設定のストリーム は、オーディオ 1

4. オーディオチャンネル構成

オーディオチャンネルを選択して下さい。Audio チャンネルは以下のとおりです。
1. メインオーディオ
2. サブオーディオ
3. デュアルオーディオ

初期設定は、メインオーディオになっています。

5.

すべての設定変更を保存するには、"Apply（適用）" ボタンをタッチし、メニュー設定を閉じて下さい。

6.

初期設定に戻すには“Reset（リセット）”ボタンをタッチして下さい。

機能と操作

フラッシュ再生……31、32
音楽再生……33、34
ビデオ再生……35、36
写真再生……37、38
Ｅブックを読む……39、40
ゲーム…… 41
電卓…… 42
GPS テスト …… 43

フラッシュ再生

フラッシュファイルを再生します。

操作方法

システム表示画面で、 ボタンをクリックして、メディアプレイヤーの機能に進み、その後フラッシュに進むには、“フラッシュ”をクリックして下さい。以下の画面が表示されます。

選択されたフォルダーにないフラッシュファイルを検索するには、この画面上で、 ボタンをクリックしてください。
この画面を閉じ、フラッシュ再生モードを終了するには、 ボタンをクリックしてください。
選択したファイルを開くには、そのファイルをダブルクリックをするか、ファイルを選択してから ボタンをクリックして下さい。

再生モードでのコントロールボタン

：再生。 一時停止もしくは停止モードの時に、このボタンを押して再生。

：一時停止。 再生モードの時に、このボタンを押して一時停止します。

：停止。 再生モードの時に、このボタンを押して停止します。

：早送り。再生モードの時に、このボタンを押して早送りをします。

：巻き戻し。再生モードの時に、このボタンを押して巻き戻しをします。

：全画面表示。全画面表示で再生をするにはこのボタンを押して下さい。

：戻る。再生モードからシステムメインメニューへ戻るにはこのボタンを押します。

：サウンド設定。このボタンをクリックして、ミュートに変更して下さい。サウンドアイコンが、 に変わります。ミュートアイコンをクリックすると通常出力に戻り、サウンドアイコンが に戻ります。

全画面表示の時は、ツールバーは画面下に隠れていますが、画面をタッチすると表示されます。

音楽再生

MP3、WMA, WAV のフォーマットの音楽を再生します。

操作方法

システム表示画面で、 ボタンをクリックして、メディアプレイヤーの機能に進み、その後音楽再生に進むには、“ミュージック”をクリックして下さい。以下の画面が表示されます。

選択されたフォルダーにない音楽ファイルを検索するには、この画面上で、 ボタンをクリックしてください。
この画面を閉じ、音楽再生モードを終了するには、 ボタンをクリックしてください。
音楽ファイルを再生するには、ファイルをダブルクリックをするか、ファイルを選択してから ボタンをクリックして下さい。

再生モードのボタンとコントロール

音楽再生モードで、 ボタンをクリックすると一時停止します。
その後でそのボタンが、 ボタンに変わります。この時に ボタンをクリックすると、音楽再生モードに再び戻ります。

ボタンをクリックすると停止し、 ボタンをクリックすると次の曲にジャンプします。 ボタンをクリックすると、前の曲にジャンプします。

ボタンをクリックすると、リピートモードに切り替わります。
ボタンをクリックすると、ミュート設定になり、その後このボタンは、
に変わります。 を再度クリックすると元に戻ります。

音楽再生を終了するには

右上角の ボタンをクリックすると、終了します。

ビデオ再生

ビデオファイルを再生します。フォーマットは以下となります。
：AVI、MPEG、MPG、ASX、DAT、ASF、WMV

操作方法

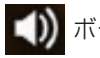
システム表示画面で、 ボタンをクリックして、メディアプレイヤーの機能に進み、その後ビデオプレイヤーに進むには、“動画”をクリックして下さい。以下の画面が表示されます。

選択されたフォルダーにないビデオファイルを検索するには、この画面上で、 ボタンをクリックしてください。
この画面を閉じ、ビデオ再生モードを終了するには、 ボタンをクリックしてください。
ビデオファイルを再生するには、ファイルをダブルクリックをするか、ファイルを選択してから ボタンをクリックして下さい。

システム表示画面

：再生
：次に進む
：一時停止
：前に戻る
：停止
：全画面表示
：閉じる

再生進行状況。再生を始めたいポイントにドラッグして下さい。

ボリューム調整。ミュートに設定するには、左にある  ボタンをクリックし、戻すにはもう一度クリックして下さい。

- 全画面表示のときは、ツールバーは画面下に隠れていますが、画面をタッチすると表示されます。
- このアプリを長期間使用していなかった場合、ビデオ再生モードの開始時のファイル検索に２－３分かかります。

写真再生

SD カードに保存されている JPG フォーマットで写真を再生表示します。

操作方法

システム表示画面で、画像再生に進むには画像をクリックして下さい。以下の画面が表示されます。

選択されたフォルダーにない写真を検索するには、この画面上で、 ボタンをクリックしてください。

この画面を閉じ、写真再生モードを終了するには、 ボタンをクリックしてください。

写真を再生するには、ファイルをダブルクリックをするか、ファイルを選択してから ボタンをクリックして下さい。

写真を見るときの操作

ボタン、もしくは、 ボタンをクリックして、現在の写真よりも前の写真または、次の写真を選択します。

ボタン、もくしは、 ボタンをクリックして、拡大・縮小します。

ボタンをクリックして、全画面表示にします。全画面表示で、画面を再びタッチすると、全画面表示を終了します。

異なる率の表示を選ぶには、 ボタンをクリックします。;

ボタンをクリックすると、写真を回転できます。

を使って、表示ページの送り方を自動モード、または、マニュアルモードにするかの設定を選択できます。

写真再生を終了するには

右上角の ボタンをクリックすると、終了します。

Eブックを読む

SD カードに保存されている .txt フォーマットのEブックを読みます。

操作方法

システム表示画面で、 ボタンをクリックして、Eブックの読込アプリに入ります。以下のファイル選択用画面が表示されます。

選択されたフォルダーにないテキストファイルを検索するには、この画面上で、 ボタンをクリックしてください。
この画面を閉じ、ファイル読取りモードを終了するには、 ボタンをクリックしてください。
ファイルを開くには、ファイルをダブルクリックをするか、ファイルを選択してから ボタンをクリックして下さい。

ブックマーク

膨大な量の記事を読む際に、ブックマークを付ける機能です。ページにマークをつけたり、前回（読み終えた箇所に）マークをつけたりして、ページにジャンプし、読書に便利な機能になっています。

操作方法

Eブック読書モードで、右の ボタンをクリックしてブックマークの設定画面に入ると、ダイアログブロックが表示（画面 1）されます。

ボタンをクリックして、現在のページをブックマークとして保存します。
ブックマーク一覧から保存されたブックマークを直接選ぶことができます。また、このブックマークは、 ボタンをクリックすると、消すことができます。
ボタンをクリックすると、そのブックマークに関係するページにジャンプします。
ボタンをクリックすると、ブックマークの設定が終了し、通常の読書画面に戻ります。

画面 1

指定されたページにジャンプする

膨大な量の記事を読む際に、ブックマークが設定されていない時に、指定されたページにジャンプするための機能です。

操作方法

E ブック読書モードで、右の ボタンをクリックして、ジャンプ機能の画面に入ると、ダイアログブロックが表示（画面 2）されます。

画面上の数字キーをクリックして、ジャンプ先のページ数を入力します。入力時に、 ボタンをクリックすると、削除されます。
ページ数を入力後 、 ボタンをクリックすると、入力した項目を消去します。 ボタンをクリックすると、選択されたページにジャンプします。

画面 2

ゲーム

システムの表示画面で、 ボタンをクリックしてゲーム画面に入ります。以下の画面が表示されます。

この画面上で、ゲームアイコンをクリックして、ゲームに入ります。
ゲームの遊び方については、ゲーム内で利用できるヘルプをご覧ください。

電卓

本機は、一般電子計算機と関数計算機の 2 種類の計算機（機能）を備えており、いつでも切り替えることができますので、あなたの仕事や勉強に合わせてお役に立ちます。

操作方法

システム表示画面で、 ボタンをクリックし、【ツール】をクリックすると、ツール画面が表示されます。 アイコンをクリックすると、計算機能が起動します。

上の画面画像のように、計算機は通常計算機と同様に使用できます。右にある“Scientific/Ordinary （関数／一般）”をクリックして、関数計算機と一般計算機を切り替えます。計算の単位は、設定言語に対応しています。

計算モードを終了するには

計算モードで、画面の右上角にある ボタンをクリックすると、計算モードを終了し、前のメニューに戻りします。

GPS テスト

衛星信号の受信状態や衛星の数など、いくつかのデータを確認します。

操作方法

システム表示画面で、 アイコンをクリックし、【ツール】をクリックすると、ツール画面が表示されます。 アイコンをクリックすると、ＧＰＳ機能（画面）に進みます。

この表示画面にある全ての情報は、簡単な情報です。詳細については、本機の関係書類をご参照ください。

GPSリセット

GPS ナビゲーション機器が、静止衛星信号を受信しているとき、場所ごとに違う衛星が対応しています。このことを“Ephemeris (エフェメリス)”と呼びます。一つのエフェメリスは、300km の範囲をカバーします。あなたが A 地点で“エフェメリス”を設定し、本機をシャットダウンした後に、それの範囲である 300 ｋｍを超えた地点に移動すると、本機は別のエフェメリスの範囲に入っており、その異なるエフェメリスを突き止めるために衛星の検索を開始します。これは大変時間を要するプロセスですので、その検索が始まる前に“GPS のリセット”ボタンをクリックして時間を短縮してください。

システム設定

システム設定…… 45
言語設定…… 45
バックライト設定…… 46
電源設定…… 46
音声設定…… 47
時間設定…… 48
システム設定…… 48
座標調整…… 49
ロゴ・アップデート……49、50
GPS パス ……50、51
USB 設定 …… 52

システム設定

システムの初期設定を変更し、お好みに合わせたシステムの設定をします。

操作方法

システム表示画面で、 ボタンをクリックして、システム設定に進みます。以下のシステム設定画面が表示されます。

システム設定には、10 項目の設定アイコンが表示されています。
それぞれ、項目をクリックして設定を変更します。詳細は以下になります。

言語設定

システムの言語（表示）を設定します。以下の画面が表示されます。

この表示画面で対応言語のアイコンをクリックするか、インターフェースプロジェクトを選ぶと、設定終了後、（その設定を行う）前のメニューに戻り、システムは自動的に設定されます。
（インターフェイスプロジェクトの変更後は、システムの再起動が要求されます。）

バックライト設定

画面表示のバックライトの明るさや、本機が使用されていないときのスクリーンセイバーの開始時間を変更します。以下の画面が表示されます。

スライドのブロックをドラッグして動かして設定します。スクリーンセーバーの無効を選択すると、スクリーンセーバーは消えます。設定後、このウィンドウを閉じると保存されます。

電源設定

本機が使用されていないときの自動電源オフや節約モードの開始時間を設定します。

この機能の起動を無効にするには、時間を設定するドラッグメニュー（の画面）で、“No”を選択します。設定後、このウィンドウを閉じると保存します。

音声設定

起動時の音楽や、クリック音や全体の音量を設定します。（機能選択後、）以下の画面が表示されます。

この画面で“スクリーンサウンド”をクリックして、画面の操作音を有効もしくは無効にします。起動時音声を直接クリックして、音声を聞くことができます。また全般的な音量は、そのスライドをドラッグして調整できます。

起動時の音楽設定

現在の表示画面上で、“ユーザー設定”をクリックすると、 以下のようなダイアログウィンドウ画面が表示されます。

“Nand Flash (ナンド型フラッシュ)”は、本機内部メモリーのことを指し、“SDMMC”は、SD カードのことを指します。起動時音は、その両方から選ぶことができます。 どちらかを選択し、 ボタンをクリックして確認したうえ、前の画面に戻ります。

時間設定

本機システムの時間を設定します。以下の画像表示が現れます。

この画面上のボタンをクリックして設定します。 設定後、現在のウィンドウを閉じて保存します。

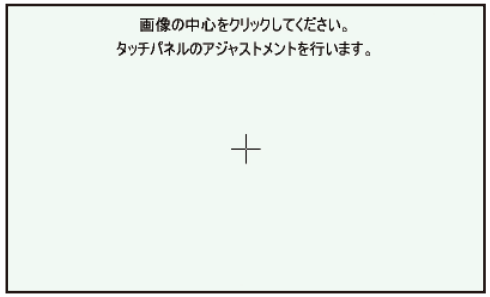
システム設定

システム情報を確認します。

この画面上で、右側の項目を直接クリックしてください。

座標調整

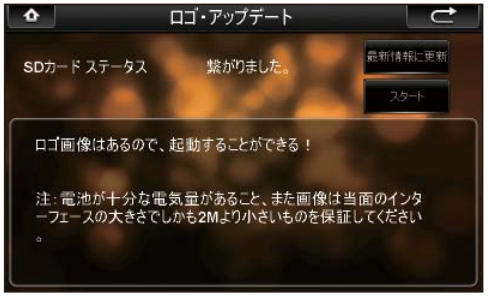
タッチパネル上でのスタイラスの位置を調整します。画面表示は以下のようになります。



画面上の十字カーソルの真ん中を、スタイラスでタッチし、続けて表示される十字カーソルを順にタッチしていくと、“座標修正が完了しました。”が表示されます。

ロゴ・アップデート

本機のスタートアップロゴを更新します。SD カードにロゴの画像が保存されていることを確認してください。以下の画面が表示されます。



現在の SD カードの中にロゴファイルがない場合は、SD カードにロゴファイルを保存するか、更新（ロゴ）ファイルが入った SD カードに替えた後に、最新情報に更新 ボタンをクリックすると、この更新ファイルが閲覧できます。
更新操作中に、スタート ボタンをクリックすると、ダイアログフレームが表示されます。（次頁 画面 1）

画面 1

× ボタンをクリックして、更新をキャンセルするか、
✓ ボタンをクリックして、更新を継続します。

> ⚠ **更新する時は、バッテリーが満充になっていることを確認してください。そうでない場合は、本機の充電を行ってください。**

GPS パス

GPS ナビのプログラムを設定します。以下の画面が表示されます。

画面に一覧表示されているファイルは、SD カードに保存されているものです。クリックしてファイルの読み取りを行ってください。

GPS ソフトの選択

一つの SD カードに２社以上の異なる会社の地図がある場合、GPS ソフトウェアーを選択してください。

選択方法：
SD カードのディレクトリーで該当するフォルダーを開き、使用する地図を見つけて“.exe”形式のナビゲーションソフトウェアを選びます。

(それぞれの会社で違う名前を持っている場合、それぞれの会社のナビゲーションソフトウェアに関する詳細を参考にしてください。[例] ケアーランドは、WINCE_GPS.exe を保有する等)

GPS経路 ボタンを選択し、クリックすると、以下のようにダイアログのフレーム画面がポップアップ表示されます。

✓ ボタンをクリックすると中断され、✕ をクリックすると、以下の画面が表示されます。

右上角の ボタンをクリックして、GPS パスの画面に戻ります。

USB 設定

“U ディスク”は本機をポータブルメモリーとして設定するもので、本機の USB インターフェイスがコンピュータに接続されている間に本モードを設定します。
“ACTIVESYNC”は、本機をプログラムデバック用として使用するためのものです。以下の画面が表示されます。

お好きな接続モードをクリックして下さい。このウィンドウを閉じると選択されたモードが保存されます。

サービス

TF カードへのファイル保存と
割当をするには…… 55
仕様書…… 56
トラブルシューティング…… 56

TF カードへのファイル保存と割当をするには

通常、本機で使用されるファイルは、本機内蔵プログラムへのアクセスを確保するために指定フォルダーに保存されます。他のフォルダーもしくはTF カードのルートディレクトリーの下にファイルを保存することもできます。
ファイルが指定フォルダーに保存される場合、対応アプリを開いている間はそれらのファイルを直接閲覧できますが、指定フォルダーに保存されていない場合は、同アプリでファイルを閲覧できません。“Search（検索）”ボタンをクリックして、システムがそれを見つけ検索結果として表示するまで指定外フォルダーの中の全てのファイルを検索する必要がありますので、ファイルを対応フォルダーに保存することを強くお勧めいたします。
TF カードの中のフォルダー内の機能とアプリは、以下のように並んで表示されます。

e ブックファイル
e book

ビデオファイル
mp4

ナビゲーションファイル
GPS

フォトファイル
picture

ミュージックファイル
mp3

ナビゲーションソフトウェアは、GPS のディレクトリーに保存されなくてはなりません。

仕様書

GPS チップセット	Centrality Atlas-V 500MHz AT550
アンテナ	アンテナ内蔵リアル
ディスプレイ	7.0" TFT Support full-touched control
解像度	800*480 WQVGA
バッテリー	1500 mAH
内蔵メモリー	128MB
外付けメモリー	TF カードスロット（8GB までサポート）
車両充電器（シガーソケット）	入力電圧：12V ～ 24V
動作温度	-20℃ から 50℃
保管温度	-20℃ から 65℃
センサー重量	32g ± 3g

トラブルシューティング

症状	原因	処置
電源が入らない	バッテリー切れ（電源を入れても点滅した後スクリーン表示が表示されない）	本マニュアルのバッテリー充電の説明をご参照ください。 また、同梱の充電機のみをご使用ください。
操作ができない	起動時の表示画面が変わらず、画面に長時間残ったままである。	バッテリーを取り出し、もう一度入れ直し、デバイスを再起動します。
	画面に何も表示されない、またはどのボタンを押しても画面表示が固まってしまう。	電源ボタンを５秒以上長押しします。
		バッテリーを取り出し、もう一度入れなおし、本機を再起動します。
アップグレード中のエラー	アップグレード中の故障、または機能停止で、画面が停止したままボタンが反応しない。	この問題は、製造元での修理が必要です。修理のために返送してください。
充電ができない	充電中に、本機のグリーンのＬＥＤ表示灯が点灯しない、または画面に充電のサインが出てこない。	充電機が適切につながっているか確認して、電源をオンにします。
		充電器が故障しています。
		バッテリーが故障もしくは満充電になっている。
		充電中にグリーンのＬＥＤは点灯しますが、充電サインは同時には出ません。